

る り こ う
寺だより 「**瑠璃光**」

第 9 号 秋彼岸号 平成 20 年 9 月 20 日
発行責任者 倉松俊弘・編集 護持会総務広報 阿部泰治

真言宗 智山派

医王山 阿弥陀院 **薬王寺**

TEL : 0289-65-5315 FAX : 0289-64-5339

URL : <http://www.yakuohji.or.jp>

一 挨拶

薬王寺 円明院

住職 倉松俊弘

耳を澄ますと虫の音が、目を閉じるとすがすがしい風が通りすぎます。秋の気配を感じる季節になりました。皆様いかがお過ごしですか？

世間では、冷凍餃子、賞味消費期限偽装、産地偽装、使い回し、汚染米など「食」の危機が取りざたされています。疑いもなく頂いていた食物が、不信になると、安心して食べるものが出来なくなります。生産者、消費者お互いの信頼関係を取り戻さなければなりません。また、日本の食料自給率は40%です。今まさに食糧問題を考える時期なのかもしれません。

仏教は悪いことをしてはいけません。良いことをしましよと教えています。自分がされて嫌だと思ふ事は、相手も同じように嫌な事なのです。相手の身になって考えることが思いやり、いたわり、すなわち慈悲心です。

合掌

法要のご案内 9 ~ 1 月

9月20日(土) ~ 26日(金) 秋季彼岸

9月22日(月) 午後1時 **本山特派布教師法話** 午後2時 **大施餓鬼会(秋季彼岸会)**

当寺恒例の大施餓鬼会を厳修します。各家先祖代々霊と有縁無縁の諸霊に祈ります。法要に先立ち、午後1時より本山特派布教師の法話を予定しております。



12月 8日(月) **成道会・納め薬師** 午前6時

お釈迦様が悟りを開かれた日です。この日は、「仏生会(4月8日)」、「涅槃会(2月15日)」に並び、仏教寺院で大切にされている日です。薬師粥奉仕があります。

12月31日(水) **除夜の鐘** 午後11時30分より

百八の数は私たちの心の迷いである「百八煩惱」に由来し、鐘を撞くことで往く年を反省し、来る年に希望を託して除災招福を祈ります。

境内を**万灯**で**荘厳**する予定です。



1月1日(木) **元朝大護摩修行** 午前0時・午前11時

ご本尊さまとご先祖さまに年頭の挨拶をし、元朝大護摩で一年の加護をご本尊さまに祈念します。お時間に都合をつけて、ご来寺の上、ご焼香ください。

1月8日(木) **初薬師・鹿沼招福七福神縁日** 午前6時

新年初めてご本尊薬師瑠璃光如来様、鹿沼招福七福神様のご縁日です。また、勤行後は薬師粥のご奉仕もごさいます。

菩提寺の行事に参加しましょう

薬王寺・円明院 定例総代・役員会 報告

6月17日に「平成20年度総代・世話人代表会」を行い、午後に「平成19年度薬王寺・円明院定例総代・役員会」が開催され、前年度行事、決算等が報告されました。

今後も、責任役員会や総代会をはじめ、護持会で重要な議題が審議されていきます。

薬王寺・円明院 本山団体参拝 報告

6月23日から二泊三日の行程で、京都総本山智積院へ参拝に行きました。参加者25名。24日の朝には、十善戒の写経に続き、金堂にてご先祖様のご供養を、明王殿にて護摩祈禱をして参りました。150名を超える僧侶の読経の声が体全体に響き渡り、自然に涙があふれ、感無量の時を過ごしました。この感動を少しでも多くのお檀家様に味わって頂きたいです。また小浜の町を訪れ、渡岸寺、明通寺などをお参りし、楽しく参加者と懇親を深めました。毎年、6月中旬に企画をします。



寺子屋 報告

小学生27名が参加。勉強に読経、清掃、写仏と、楽しく充実した日でした。毎年7月31日です。



初盆仏供養会 報告

初盆を迎えたご精霊さまを懇ろにご供養いたしました。



盂蘭盆会（迎え盆・送り盆法要） 報告

「迎え盆法要」仏様をお迎えする前に、ご本尊様にご焼香いただき、お迎え報告をしてからご自宅にお迎えする法要です。8月13日午前10時に沢山の方がご焼香くださる中、厳修しました。

「送り盆法要」ご先祖様をお迎えし、楽しいお盆を過ごすことができました。という報告をする法要です。8月16日午前10時、午後2時、そして、豪雨の中午後6時過ぎと3回厳修いたしました。



一口法話 おかげさまで 第5回 「成仏 その2」

今回は、三番目の行 せんだいはらみつ 羸提波羅蜜 にんにくはらみつ 忍辱波羅密 堪え忍ぶこと、すべてをゆるし感謝をすることです。

毎週水曜日には「みでしわれ、すべてをゆるし、なにごとにも感謝し喜び、面白く思い、いつも笑顔が消しません。」と唱えます。ニューヨークでの9,11事件も恨みによる報復の結果です。この恨みを消すのはどうしたらよいか？ 仏教では「恨みに報復を持って応ずれば、恨み消えず。恨みに徳をもって応ずれば恨み消える。」と教えてくれます。耐える心、相手を許す心、何ごとにも受け入れる心を持つということです。それが徳であり、恨みを招くことはありません。いろいろな事が起きてきますが、笑顔で過ごせるよう精進しましょう。

合掌